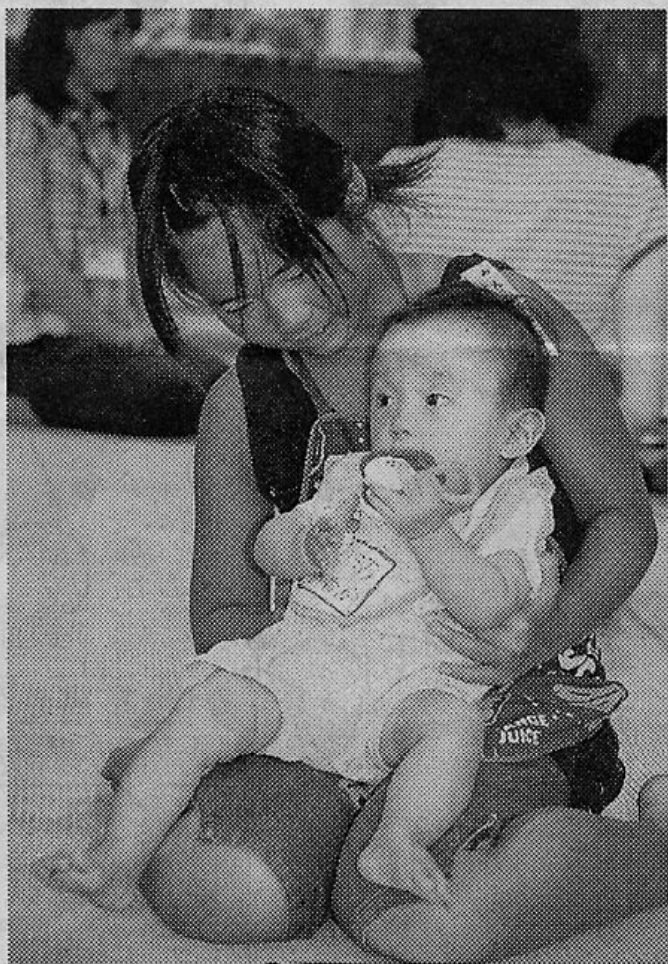


2008 7. 7
これぞ命のぬくもり
三朝・東小 赤ちゃん登校日

赤ちゃんを抱っこし、ぬくもりを感じる児童＝3日、三朝町の東小学校



ケーシヨンの方法や抱っこする時の注意などを学んでから対面した。

触れ合いを終えて岡本怜馬君(二〇)は「また抱っこしてみたいと思いました」と笑顔。生後八カ月の長女、祥乃ちゃんと訪れた同町牧の漆原裕子さん(三三)は「一生懸命あやしてくるのがうれしかったです」と喜んでいました。

十一月には同じ赤ちゃんが来校し、子どもたちにどれくらい成長したかを見てもらうことになっている。

三朝町余戸の町立東小学校(井尾雅一校長、五十四人)で三日、「第

一回赤ちゃん登校日」

が行われた。五年生十二人が赤ちゃんを抱いたり、母親に質問した

りして触れ合いを体験し、命の大切さなどを身をもって学んだ。

体験を通じて、自分の命と自分自身の存在の大事さなどを学ぶのが狙い。子どもたちは

事前学習で、助産師から赤ちゃんがどうやって生を受けるかなどを学んでいた。

学校医で小児科医の松田隆さんをアドバイザーに迎え、コミュニ